

No.	意見（原文そのまま）	回答（市の考え方）
1	<p>若い世代をターゲットにするのは良いことだと思えますが、今すでに北本に住んでいる幅広い世代の人たちも大切にしてほしいです。</p> <p>子育て世代だけでなく、高齢の方など、みんなが「北本に住んでいて良かった」と思えるような PR をお願いします。住んでいる人が毎日を楽しく過ごしている姿こそが、市外の人にとって北本が魅力に見えるのではないかと思います。</p>	<p>本方針で「25 歳から 39 歳までの市民」をメインアプローチとして定めているのは、将来の北本市の活力を維持するために、特にこの世代の転入促進や定住が大きな課題となっているためです。しかし、これは決して他の世代を軽視するという意味ではございません。</p> <p>実際に各種シティプロモーション事業において、60 歳以上の方が非常に意欲的に参加され、イベントの活気や北本らしい温かな雰囲気を作ってくださっています。</p> <p>豊かな経験を持ち、長く地域で活動されているシニア世代と、若い世代が交流することで「北本で暮らすことの豊かさ」の実感に繋がるものと考えております。</p> <p>本方針に基づき、若い世代に向けた情報発信、事業展開等を積極的に行う一方で、実際の事業運営においては、シニア世代の皆様を知恵や活力を活かせる場をさらに広げ、多世代が混ざり合って「北本らしい暮らし」を体現する事業を推進し、世代を問わず全ての市民の皆様が「北本に住んでいて良かった」と思えるシティプロモーションに努めてまいります。</p>

2	<p>&green のコンセプトや取組は、当初は斬新で他市にはない取組だと思っておりましたが、このところ内容がマンネリ化しているような印象を受けます。</p> <p>この方針案では、基本的にはこれまでの方針を継続するようですが、新しく取り組むことや市民がもっと参加できる方法などは検討していますか。</p>	<p>第3期方針では、第2期に引き続き、「&green」をシティプロモーションコンセプトに掲げ、その定着を目指しています。一方で、マンネリ化とならないよう決して現状に満足せず、社会情勢等に合わせて毎年新しい挑戦を続けています。</p> <p>実際に、令和5年度には市民がInstagramを活用して情報発信を担う「みどりと広報部」、令和6年度には若い世代の「やってみたい」を応援する若者チャレンジプロジェクト「ふみだスコーレ」を開始するなど、様々な世代の方が参加できる場を広げてまいりました。</p> <p>第3期方針では、これらをさらに進めるとともに、「関係人口」の増加を明確な目的に据え、市外のファンを創出すること、また、ふるさと納税を「市外へのプロモーション」と位置づけ、北本のファンを全国に広げることが新たに明記しました。</p> <p>シティプロモーションコンセプト「&green」のもと、これからも立ち止まることなく、より良いシティプロモーションを推進してまいります。</p>
---	---	--